

◆報告事項

2026ピースアクションinヒロシマ・ナガサキ連携企画「2026子ども平和会議」への代表派遣について

次世代を担う児童・生徒が、全国の青少年とともに、平和の大切さについて考え学ぶ機会として、広島県生協連・長崎県生協連・日本生協連が共催する“2026ピースアクションinヒロシマ・ナガサキ”連携企画「2026子ども平和会議」へ代表者を派遣します。代表者は組合員のお子さんから公募します。

子ども平和新聞プロジェクトについて

昨年、被爆・戦後80年の節目を迎える企画として実施した「子ども平和新聞プロジェクト」を今年も開催します。内容としては、組合員のおさんが平和を題材に、県内の新聞記者の協力のもと、取材や新聞づくりの手法を学ぶとともに、地域の戦跡や施設での取材後、新聞にまとめます。この企画は子どもたちが平和について考えるきっかけとし、戦争体験の記録や記憶、平和への思いを次世代に継承することを目的としています。

「ヒロシマ・ナガサキ 原爆と人間」パネルの学校貸し出しについて

コープながのでは、身近な暮らしの中から「平和」を考え、次世代へつなぐ・伝える取り組みを行っています。子どもたちが原爆による被害の実相を知り、平和の大切さを考える機会が少しでも増えることを願い「ヒロシマ・ナガサキ 原爆と人間」パネルを県内の学校へ無償貸し出しします。

「組合員の声」3月度まとめ

3月度のカード受付件数は全体で141件でした。(以下、内訳)

組合員さんが直接記入して提出された「こへのポスト」	42件
組合員さんの言葉を職員が記入して提出した「観たこと聞いたことカード」	94件
案内センターへの声	5件

宅配事業では、卵の印字について、「卵に印字されているインクの文字は大丈夫なのか?ゆで卵などにしたときに溶けたりしないのか?卵は印字されていない商品を取り扱ってほしい」という声が寄せられました。「産直稲穂のみのりたまご(ピンク卵)」は、産直たまごの中で唯一、卵の殻に賞味期限を印字しています。卵の殻に印字しているインクは、食品衛生法の規格基準に合わせた食品素材と食品添加物100%で構成された卵の殻用インクを使用しています。また、インクは卵の殻のカルシウムと反応し、固着するため、卵内部まで浸透することはない、茹でても取れることはありません。店舗事業では、場所問合わせ(マヨネーズ、きくらげ、かつおぶしなど)の声が多く寄せられました。

4月度監事会活動

- 3月27日 コープデリグループ監事連絡会・全体会/コープデリグループ常勤監事定例会
- 4月10日 第11回監事会
- 4月16日 コープデリグループ常勤監事定例会
- 4月20日 期末監査「宅配事業・店舗事業・福祉事業の管掌役員ヒアリング」

2026年3月の回収量

【★…店舗のみの数値】
【前年同月に対して ↑増加 ↓減少】

牛乳パック 5,164kg ↓ 本数 172,133本	ペットボトル 9,222kg ↓ 本数 174,004本
たまごパック 2,203kg ↓ パック 183,583パック	食品トレイ 3,013kg ↓ 枚数 502,167枚
アルミ缶★805kg ↓ 缶 19,167缶	買物袋持参率★88.4% ↓ 来店数 64,602人

4月度決算(2026年3月21日～4月20日)

組合員数	346,531人 (前月差630人増加)
出資金総額	136億7,228万円 (前月差1,242万円増加)
事業高	36億9,709万円 (予算比98.7%)
宅配	34億3,702万円 (予算比98.6%)
店舗	2億533万円 (予算比98.5%)
職域	566万円 (予算比106.8%)
経常剰余金	8,197万円 (予算比116.2%)

開催報告

CO・OP第28回 全日本障害者クロスカントリースキー競技大会

2月7日(土)～8日(日)、白馬クロスカントリー競技場(スノーハープ)にて、国際スキー・スノーボード連盟(FIS)／公益財団法人日本障害者クロスカントリースキー連盟主催の「第28回全日本障害者クロスカントリースキー競技大会」が開催されました。コープながのは、日本生協連・コープ共済連・とやま生協とともに協賛し、コープの「米と米麴の甘酒」「瀬戸内レモンのレモネード」などをふるまいました。また、入賞選手にはメダル授与のほか、副賞としてお菓子で作ったブーケを贈りました。



選手、日本生協連、コープ共済連、とやま生協、コープながのの理事と職員



Sprintクラシカル(1.25km)、クラシカル(10km)、クラシカルチャレンジ(5km)が行われ、ギャラリーからは盛んな声援が送られました。